

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年5月15日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週				
	15週	16週	17週	18週	
	4月6日～4月12日	4月13日～4月19日	4月20日～4月26日	4月27日～5月3日	
急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ* 新型コロナウイルス感染症*	422	445	580	530	
	84.40	89.00	116.00	106.00	
	18	8	1	2	
3.60	1.60	0.20	0.40		
10	16	9	11		
2.00	3.20	1.80	2.20		
小児科定点	RSウイルス感染症*	1			
	0.33				
	咽頭結膜熱*	2			
	0.67	0.67			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	8	8	8	7
	2.67	2.67	2.67	2.33	
	感染性胃腸炎	9	10	14	2
	3.00	3.33	4.67	0.67	
	水痘				
	手足口病				
伝染性紅斑				1	
0.33					
突発性発しん	2	2	3	1	
0.67	0.67	1.00	0.33		
ヘルパンギーナ*					
流行性耳下腺炎					
眼科定点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎		3	5	
3.00	5.00	1.00			
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎				
	無菌性髄膜炎				
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)				
	川崎病		1	1	
	不明発疹症				

大崎保健所管内定点数: 内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間ににおける対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

- なし

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- 急性呼吸器感染症の定点当たりの患者報告数は、県内全体でほぼ横ばいでした。
- 一方、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たりの患者報告数は増加しています。A群溶血性レンサ球菌は、飛沫・接触感染により広がるため、引き続き咳エチケットの徹底や、手洗いなど、基本的な感染対策を徹底しましょう。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- 新たな集団発生の報告はありません。

- 保健所では、御希望の施設に職員を派遣して、研修会を実施しています。
- 研修会では、講話の他、吐物処理やPPEの着脱、手洗い等の演習も実施可能です。
- 御希望があれば、右記番号まで御連絡ください。

【お知らせ】

- 国内で麻しん(はしか)が流行しています。
- 麻しんウイルスによって引き起こされる感染症で、感染力が非常に強く、同じ空間にいただけで感染することもあります。
- 予防には予防接種が有効です。2回接種していない方は、接種を検討してください。

【感染症コラム～急性呼吸器感染症(ARI)～】

- 急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。
- 流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、国民や医療関係者の方々の情報共有、未知の呼吸器感染症が発生した際の迅速な探知を目的に、令和7年4月7日から5類感染症に位置付けられました。
- 就業制限や登校制限の対象にはなりません。
- ARIは、飛沫感染等により周囲へ感染拡大しやすいことが特徴です。基本的な感染対策として、換気や手洗い・手指消毒、マスクの着用を含めた咳エチケット等を実施してください。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594